

平成27年度第2回栗東市総合教育会議

開催日時 平成27年8月12日(水) 11:12～11:41
開催場所 栗東市役所4階第3・4委員会室
市長 議長 野村 昌弘
教育委員 委員長 森島 昭二
職務代理者 青地 優子
委員 池崎 忠夫
委員 内記 一彦
教育長 森本 明
事務局出席者 政策推進部長(南)、元気創造政策課長(國松)、元気創造政策課係長(秋田)
教育部長(田中)、教育部理事(野村)、教育総務課長(片岡)、教育総務課長補佐(中井)

片岡教育総務課長

ただいまから平成27年度第2回栗東市総合教育会議を開催いたします。
平素、皆様方には御多用の中、御出席をいただき厚くお礼申しあげます。
それでは、次第に沿って進めてまいります。

まず、市民憲章の唱和をお願いいたします。御起立お願いいたします。

市民憲章はお手元次第に記載しております。私から前段朗読いたしますので、後段御唱和をお願いいたします。

(市民憲章唱和)

ありがとうございました。

続きまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

野村市長

本日は、第2回栗東市総合教育会議の開催をお願いいたしましたところ、残暑厳しい中、本当に出にくい時間帯にもかかわらず、御出席をいただきましたことに、心から厚く感謝を申しあげるものであります。

本日は、学校給食共同調理場、中学校給食の考え方について御協議を賜りたいと思っております。学校給食共同調理場につきましては、老朽化が進んでいる現状から、更新をしなければならないことを、先ほど開催のありました議会説明会において中長期財政見通しを説明する中で、議会の皆様方に考え方や方針をお示しさせていただきました。

その中にありまして、今まで財政の健全化に向けた取り組みを進めている中で、中学校給食を廃止した経過があります。お金がないから廃止したとい

うことではなくて、私は当時議員でございましたが、その当時考えておりましたのは、残渣が多かったことが大きい要因でありました。もう一つ、食数が今の学校給食共同調理場では作れないということがありました。この二つの大きい要因をどうしていくのかということをお今日まで計画をつくっていただいた後、5月にはモニタリング調査をするということで葉山中学校に私自身も訪問し、そこでの話やアンケート調査での生徒等の意向というのを確認をさせていただきました。

また、3月市議会には、中学校給食の是非について趣旨採択をされた状況を私なりに考えてまいりました。私自身も各地いろんなところで、様々な御意見を聞かせていただきましたが、是非とも今回のこの更新の時期に合わせて、本市がこれまでマイ弁当の定着に向けた取り組みを進めてきたこととあわせて、中学校給食も食育の観点から実施させていただきたいと思っております。

今、お手元の冊子の55ページをご覧くださいますと、弁当と給食との併用案のB案で進められないか、教育委員会と議論をさせていただいているところでございます。内部的にもこうした方向づけをしていくことで、これからの学校給食共同調理場の更新の場所、大きさを決めていけるのではないかと今思っているところでございます。

どうぞ、こうした方向で、本日、提案もさせていただきますので、御理解と御協力を賜りますことをお願いを申しあげまして、冒頭に当たりまして、私からの御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いを申しあげます。

片岡教育総務課長

それでは、本日の議題に入らせていただきたいと思います。

第1番目の栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画についてです。

ここからは要綱第4条の規定により、会議の議長を市長にお願いいたします。

(議長：野村市長)

それでは、私から議事の進行を務めさせていただきますので、よろしく御協力をお願い申しあげ、座わって進めさせていただきます。

まず、議題(1)報告事項であります。

栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画について、説明をお願いします。

片岡教育総務課長

それでは、説明をさせていただきます。

お手元の資料のうち、栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計

画（案）に対する意見募集結果について、A4の両面刷りの資料をご覧いただきたいと思っております。

既に冊子ができ上がっているわけですが、この冊子をつくるに当たりましては、平成27年5月19日から平成27年6月18日までの間にパブリックコメントを実施させていただきました。意見募集は、広報りっとう、市のホームページ等で周知をさせていただき、閲覧場所は、市のホームページ、教育総務課の窓口、市役所1階情報コーナー、各コミュニティセンターに設けさせていただきました。意見の提出方法は、郵送、持参、ファクス、電子メールとさせていただきました。

意見募集をさせていただきました結果、お一人様から二件の意見を頂戴いたしました。その概要と市の考え方、あるいは、対応につきましては、この表にまとめさせていただいたとおりです。

意見番号の1といたしましては、基本構想・基本計画（案）の29ページの基本方針6に、循環型社会の実現や省エネルギーに取り組む施設の中で、省エネ機器の導入等の検討について記載のありますように、「省エネやCO2の削減に取り組むことは大変評価できますが、コストの観点で取り組む姿勢がこの案の中では窺えません。共同調理場は建設後に市が何十年も運営していく施設であり、財政が危機的な状況の中、初期の費用だけでなく、ライフサイクルコストの低減に向けた施設形成・運営方法の導入を積極的に計画の中に盛り込み、市民の不安を少しでも解消するべきであると考えますがいかがでしょうか。」という意見を頂戴いたしました。これにつきましては、同じ資料の30ページの基本方針9の中で、効率化による運営コストの削減の項目を設けております。その中で施設方式、運営方式による効率的な運営等でのコスト削減に取り組むということに記載させていただいております。また、この方針を基に計画書の59ページの概算事業費の試算ではライフサイクルコストの見込額を掲げておりますので、特に計画（案）の修正はしないものとしたしております。

裏面意見番号の2でございます。基本構想・基本計画（案）の50ページの中に、炊き出しに対する対応について、電気、ガスのいずれかの供給が可能であれば調理は可能ということでありましたが、換気扇や照明が点かない場合については、安全上の観点から調理を避けるべきであるとの御指摘をいただきました。これにつきまして検討した結果、災害時であるとはいえ、移動式煮炊き釜の導入を掲げておりますが、調理室が損傷した場合、調理室だけでなく、調理室の調理機器や換気扇、照明が損傷した場合についても調理は不可能であり、電気釜とガス釜の併用の場合におけるデメリットの記述に一部修正を加えさせていただいております。

以上でございます。

(議長：野村市長)

それでは、計画書について、ただ今の説明に対しまして質疑、御意見などがありましたらお受けしたいと思います。報告でございますので、御理解をいただくことでよろしいでしょうか。

各委員

結構です。

(議長：野村市長)

ありがとうございます。

それでは、次に協議事項に入らせていただきます。

中学校給食についてでございます。

先ほど、冒頭に私から申し上げましたように、今日までの経過等を御理解をいただけたものと思います。5月の葉山中学校での給食モニタリングに訪れた際に、子どもたちから様々な声を聞かせてもらったわけですが、実際に、「おいしい。おいしい。」という意見もあれば、正直、反対の意見もありました。実際には、ただ、食育の観点でありますとか、アンケート等を見ましても、やはり中学校給食への期待というのが結構ありました。このことで、私自身もそれならと思い、また今まで施設面としてできなかったことをこの更新の時期しかできませんので、思い切ってやっていく思いが決断をあと押しした気がいたしております。

もう一方では、これまで子ども議会でも提案がありましたようにマイ弁当の日を設けて弁当の推進をしようではないかと。治田西の子どもだったと思うのですが、テレビにも取りあげていただき、弁当が定着してきていることを受けて、先ほど申しあげましたように、週5日給食がある中の4日を給食にさせていただいて、小学校も同様、1日は弁当(マイ弁当)を持ってきていただくという形で納めさせてもらえないかというのが私の考え方です。これは、私の考え方というより、内部的に積み上げてきた考え方でございます。この基本構想・基本計画と方向性をもって、これから施設整備に移っていきたいと思っているところでございます。私から、今申しあげたことについて、教育委員の皆様方の御意見をお伺いし、こうした判断をしていきたいと思っております。

どうぞ、どなたからでも御意見をいただければと思いますが、教育長、先にフォローがありましたら、お願いします。

森本教育長

今、市長から話がありましたように、中学校給食についての一つの案を出していただきました。私は、もともと教員として学校現場にいましたが、

給食の状況はかなり以前とは変わっております。給食のモニタリングで葉山中学校を訪れた際に見ておりますと、子どもたちがおいしそうに、楽しんで給食を食べている姿が目にとまりました。今もありましたように、これまで積み上げてきた弁当づくり、市内の小学校や中学校でも、一部マイ弁当の取り組みが一定定着をしている学校もございます。モニタリングのアンケートを見ておりますと、子どもたちの親に対する様々な感謝の気持ち、これは大変大事なことであり、そういったことも十分配慮しなければならないことからマイ弁当の取り組みを残した上での中学校給食というのが良いのではないかと考えておりますので、私の思いも含めてよろしくお願いたします。

(議長：野村市長)

委員長いかがですか。

森島委員長

今、市長からも御説明いただいて、給食の進行状況が把握できました。一応、B案ということで、現在、進めたいということなのですが、これは、C案にかかわることはないかと受け止めてよろしいですか。

(議長：野村市長)

個人的には、もうこれでいきたいと考えています。今、感謝の気持ちとか、家庭のコミュニケーションという話も含めて、弁当の日でいろんな対応をしていく日もなければ、だめだと思いますので、完全給食も良いかもしれませんが、できましたら、今回、この更新に当たっては、私自身B案でいかせていただきたいと思います。

森島委員長

わかりました。

もう1点は、予算の関係です。一番大きい問題かと思うのですが、私たちは予算的なことはわかりかねますが、議会との関係があるかと思うのですが、可能性というんですか。いわゆる予算対応は、いかがですか。

(議長：野村市長)

59ページをご覧くださいますと、事業費そのものが挙がっております。この関係で、B案では8,000食で延べ床面積、そして、整備事業費ということもありまして、中学校の改造費とありますのは、配膳室等の改造が必要な葉山中学校の経費及び栗東西中学校と栗東中学校については、新たに整備もしなければならない経費で、年間の維持管理運営費を合わせますとB案については、このような状況にあります。今、中長期財政見通しの中では、このこともくみした中で財政計画に落とし込みをさせておりますので、先ほど、議会にも提出をさせていただき、こうした方向でいきたいということをお願いいたします。

森島委員長

わかりました。ありがとうございます。

もう1点ですが、必要な敷地面積がすごく大きい、今の約3倍ほどになるわけですね。現有のところからすると、土地の確保ということこれから見通しを持たないといけないと思うのですが、これは、私どもが心配することではないと思うのですが、市の方の御努力をお願いしたいと思うのですが。

(議長：野村市長)

今、内容的にこういう方向でお決めにいただけますならば、思うところ数カ所で選定をさせていただいております。皆さんに御理解をいただけるような内容となるように、今精いっぱい努力をしているところでございます。給食調理後、喫食までの2時間を守れるような状況を、財政面や大きさも含めて、しっかりと手だてを講じているところでございます。

森島委員長

ありがとうございます。

一日も早く進めていただけるように、よろしくをお願いしたいと思っています。

(議長：野村市長)

池崎委員、どうぞお願いします。

池崎委員

先ほど説明されましたように、週4日ということはそれで私も賛成です。と申しますのは、今、マイ弁当づくりは葉山中学校や治田西小学校で熱心に行われています。この取り組みには、かなり地域差があるものの、定着しつつあると思いますので、これを生かしていただくという意味では非常に良いと思います。

もう一点、今、資料の中の市の意見として、災害時の対応として移動式の災害用釜炊きの導入を考えておられますけれども、これもお金の問題がありますので、どの程度のものを考えておられますか。今できるだけそういうときに対応できるようにとなると、財政的なものがありますので、一概になかなか難しいと思いますがいかがですか。

(議長：野村市長)

パブリックコメントの意見からご発言いただいていると思いますので、事務局からお願いします。

片岡教育総務課長

今、その部分についても備えさせていただくということで、計画に挙げさせていただいておりますし、具体的な何人規模というところは、これから中身を検討していきたいと考えております。

以上でございます。

(議長：野村市長)

災害全体のことで申し上げますと、応援協定等を結んでおりますので、もちろん学校給食共同調理場でお願いをしなければならない部分と市全体の中でお願いしなければならない部分がありますので、精査のうえ、全部抱き合わせで実施することが必要となってきます。そうしたことでいいますと、今学校で災害用マンホールトイレの設置など災害に対応することも実施しておりますので、是非とも、また御協力をよろしく申し上げます。

他に、青地委員。どうぞ申し上げます。

青地委員長職務代理者

中学校給食の実施が当たり前ではない。当時、残渣が多かったことが給食廃止の要因のひとつであったことを御存じない方には、当たり前ではなくて、残渣を少なくして、できるだけ感謝していただくようにお願いします。

また、給食費の収納に関する指導を徹底できるように、これを機会に何か考えていただければと思います。

(議長：野村市長)

給食費の関係についても、これから周知のお願いをしていかなければなりません。実際に、中学校給食では当時のことをご存知でなかった世代の方が結構多くなっていると思いますので、このことも含めて、事務局としても学校に周知してもらわないといけない部分もありますし、先生方の理解と協力そして保護者への理解が必要です。今後段階を踏んで、様々な方法で周知をしていけるように努力をしていきたいと思っております。

内記委員、どうぞ申し上げます。

内記委員

今回、中学校給食についてということございまして、全国的な流れとしては中学校給食の実施、また、県内でも実施をしていこうという傾向にある中で、中学校給食の実施で判断いただいたことは、大変ありがたいことだと思っております。

特に、先ほどから説明がございましたように、完全給食ではなく、食育や保護者との交流も含めて、週4日の実施ということにつきましては、大変ありがたい判断と思っております。

それとあわせまして、更新ということでございます。長期的に使っていく施設でもございますので費用面は大変かと思いますが、アレルギー対応など、様々な面での整備も重ねてお願いをしていきたいと思っております。よろしく願いしたいと思います。

(議長：野村市長)

ありがとうございます。

皆様方には、御支援を改めていただきますようお願いを申しあげたいと思います。

今、一通り御意見をいただいたのですが、まだ何かありましたら、委員長よろしいですか。

森島委員長

特にございません。

(議長：野村市長)

そうですか。よろしいですか。

教育長、改めてよろしいですか、はい。

今いただきました御意見も含めて、しっかりとこれからの施設整備に当たりましては、皆様方と一緒に、栗東市一丸となって頑張っていきますことを改めてお約束を申しあげますが、そのうえでまず確認をさせていただきたいと思います。

栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画に当たりましては、私が先ほど申しあげましたB案の方向で、この後、進めさせていただくことで皆様方にお諮りをしますが、よろしいでしょうか。

各委員

結構です。

(議長：野村市長)

御理解をいただいたということで、これからしっかりと進めてまいりたいと思いますので、今いただきました御意見だけではなくて、今後ともに大所高所から御指導を賜りますようお願いを申しあげたいと思います。

また、事業推進に努めていく中で、進捗等いろんな形で御報告もさせていただきたいと思いますので、どうぞその際には御協力をよろしく願いを申しあげたいと思います。

最後に、その他事項について何かあれば、事務局お願いします。

片岡教育総務課長

特にございません。

次回の会議の開催につきましては、日程調整、あるいは事業の進捗状況を見まして、御連絡をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

以上でございます。

(議長：野村市長)

委員の皆様から何かその他で、こういった機会です。ありましたら、お願いします。よろしいですか。

今後の開催につきましても、今事務局から申しあげましたように、日程の調整をさせていただきまして開催をしていきたいと思えます。おおよそ、予定ではいつ頃を思っていますか。

片岡教育総務課長

平成28年度の予算編成に入ります前の10月から11月頃を考えております。

(議長：野村市長)

そうした方向で進めさせていただくということで、よろしくお願ひしたいと思えます。

それでは、大変皆様方には、議事進行、御協力いただきましたことに対しまして感謝を申しあげます。私のほうから一方的に申しあげましたが、しっかりと学校給食共同調理場の更新がこれからの子どもたちにとって、よりよい環境につながっていきますことと併せて皆さんにとりましても、本当に学校給食共同調理場を造って良かったと言っていただけのような環境になるように最善を尽くし努力してまいります。どうぞ今後ともに御指導、御鞭撻いただきますことをお願いを申しあげまして、第2回の総合教育会議を閉会とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

閉会宣言 11時41分